

滋賀県のブラジル人学校「サンタナ学園」を支援したい ～子どもたちの日常とその笑顔を守るために～

滋賀県は製造業が多く9千人以上のブラジル人労働者とその家族が暮らしています。サンタナ学園はその子どもたちのための学校です。数学教師だった日系ブラジル人の中田ケンコ先生が、来日してブラジル人の子どもたちが置かれている状況を知り1998年に私設の学校として設立されました。日本の学校でいじめや言葉がわからず不登校になってしまう子どもも少なくありません。在日ブラジル人の子どもたちが日本でもブラジルでも困らないように勉強を教えています。子どもたちは0歳から高校生まで約80人。プレハブやコンテナの校舎で学んでいます。6月18日、訪問してお話を聞きました。ケンコ先生は朝4時から給食を仕込んで、子どもたちの家へ送迎にまわり、必要な子には朝食を食べさせて、授業があり、昼に給食があつて授業があり、また送迎します。学齢期以前の保育もあります。



現場を見て、サンタナ学園は学校であると同時に、日本で働くブラジル人とその子どもたちを支え、教育だけでなく医療や行政の様々な生活情報を提供したり、生活支援や相談もできる、居場所でありコミュニティーなのだと思います。親が派遣で夜勤等もある仕事でケアできない部分をケンコ先生やサンタナの先生たちがお母さんのようにフォローし、サンタナ学園の子どもたち皆が大きなひとつの家族のようでした。

ただ月謝での学校の運営は厳しく、コロナ禍の影響でさらに厳しくなっています。日本で働くブラジル人の多くが給料が減っています。月謝が払えなくてもケンコ先生は子どもたちに「学校において」と言います。それがサンタナ学園です。

「今一番必要なのはバス」。毎日往復4時間、10年以上送迎に使ってきたマイクロバスの床が抜けそうで「子どもが落ちないか心配」と言われるケンコ先生の言葉に胸がしめつけられました。子どもたちの通学に不可欠な送迎バスのための資金を応援したい！

そのためにこの寄付プロジェクトを実施することを決めました！！

通学のための送迎バスが必要です！あなたの応援をお願いします 目標300万円！ サンタナ学園の送迎用マイクロバスのための寄付を呼びかけます！

- ・新しいバスの調達や価格など、サンタナ学園と連絡を取り合いながら、このプロジェクトをすすめます（中古のマイクロバスを探します）
- ・寄付金額の途中集約、プロジェクトの現状報告など随時ウェブサイトに掲載します
- ・11月末を最終集約とし、寄付の報告、プロジェクトの報告をウェブサイトでおこないます

いただいたご寄付は 全額100% サンタナ学園に届けます！

- ・ご寄付（2000円以上）は確定申告による「寄付金控除」の対象となります。
- ・ご寄付いただいた方にはプロジェクトの報告と領収書を送付します（来年2月予定）

<寄付の送金先>

- 郵便振替口座 00940-9-168864 加入者名 ドネーションシップわかちあい
※郵便振替用紙は通信欄で「サンタナ学園寄付」と明記し、お名前・連絡先も明記して下さい
- クレジットカードで寄付することもできます！
<http://donationship.org/>（ドネーションシップわかちあい で検索）
「寄付申し込みフォーム」から「使途指定寄付」を選んで「サンタナ学園」と明記して下さい



現在の送迎バス

特定非営利活動法人（認定NPO法人）ドネーションシップわかちあい

TEL&FAX 075-621-3128（又は080-6178-6155 夜のみ） Eメール yume@donationship.org



屋根だけで天井がなく、隙間があって雨漏りのするプレハブの建物、
 雨音がうるさく、夏は暑くて、冬は寒い教室。
 でもそこは子どもたちが安心して過ごせる場所、
 友だちと出会う、学校で学べる、笑顔になれる場所。
 出会った子どもたちのことをほっとけなくて
 23年走り続けてきたケンコ先生が守ってきた子どもたちの居場所。
 この場を守りたい。

～サンタナ学園を守ることは この国の未来を守ること～

日本で住民登録をしている外国人288万人(2020年)。少子化、人手不足のなかで外国人の雇用が促進され、雇用者のおよそ50人に1人は外国人。彼らの存在なくして今やこの国の産業や社会は立ちいかなくなっています。

コロナ禍において、多くの人たちが様々な困難に直面するなか、社会的に「弱い」立場におかれた人々の状況はなお深刻です。サンタナ学園に子どもを預けに来た母親がケンコ先生に聞きます。「解雇されて子どもの保険もなくなった。病院をどうしたらいい？」そうした相談が後をたちません。それは彼らだけの問題でしょうか。

国や言葉が違って、子どもの笑顔を願う気持ち、幸せに生きたいと願う気持ちは同じです。サンタナ学園を守ることはこの国の未来を守ることです。誰もが安心して生きられる社会を願います。全国の心ある方々にご支援を訴えます。私たちの手でサンタナ学園の新しい送迎バスを実現しましょう！この寄付プロジェクトを通じて、多文化共生の未来をともに創っていきましょう。



「困った時はお互い様」

サンタナ学園応援寄付プロジェクト 目標 300万円！ ご支援をお願いします

<呼びかけ> ドネーションシップ わかちあい ～わかちあい 支えあい 明日のくにへ～

「ドネーションシップわかちあい」は2007年にNPO法人として発足しました。「困った時はお互い様」の気持ちを集めて形にします。 ～ひとりには出来ることは小さいけれど、みんなの気持ちを集めれば、大きな力になる～ を合言葉に賛同いただいた方の寄付や年会費を、国内外の貧困・子ども・戦争・災害支援などの現場に届けています。寄付の実績、会計報告はすべて公開しています。詳しくはホームページをご参照下さい。

<http://donationship.org/> (ドネーションシップわかちあい で検索)

▼発足から13年目の2020年、「認定NPO法人」の認証を受けました。

認定NPO法人へ寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

個人の方が年間2000円以上の寄付をされると、確定申告で所得税から寄付金控除を受けることができます。(納めた税金が一部戻ってきます)

今回のサンタナ学園応援寄付プロジェクトもその対象となります。

会社・法人からのご寄付は、一般の寄付金とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入できます。詳しくはお問合せ下さい。

特定非営利活動法人(認定NPO法人) ドネーションシップわかちあい

TEL&FAX 075-621-3128 (又は 080-6178-6155 夜のみ)

Eメール yume@donationship.org

<http://donationship.org/>



給食に並ぶ子どもたち